

「たのセンおかやま」の概要

2022.12.25

科学ボランティアセンター コーディネーター 岡崎 則武

科学ボランティアセンター（科ボセン）では、その活動を紹介する「科ぼせん NewsLetter」（A4,4 ページ）を年6回程度発行している。想定する主な読者の対象は、科学ボランティア関係の授業の受講者および科ボセン公式ウェブページ訪問者である。

その記事として毎号ひとり、科ボセン OBOG の現在や、思い出、後輩への一言などを掲載している。

2022 年度の第 1 号に原稿依頼した OG より、「OBOG の公式なつながりがない」、同 2 号の OB より「ブラックと呼ばれる教育現場で、若い教員の横のつながりを持ちたい」という声を聞いた。

私自身は科ボセン発足当初より [人と未来の科学館サイピア] での「わくわく科学教室／理大の日」や、コロナ前まで夏休みに理大を会場に開催されていた「たのしい授業体験講座」を通じて多くの OBOG と面識があり、スタッフ会メンバーの指導力・段取り力、そしてバイタリティーとホスピタリティーに感銘を受けてきた。そこで新たな組織を立ち上げるにより OBOG のその後の豊かな人生への貢献と、同時に彼らが現役学生へのメンター・道標となってくれるのではないかと予想を立てた。

ただちに OBOG 会の広報の機能を持つ「公式 LINE」と、「たのしい先生を目指しましょう！」～略して「たのセン」というゆるやかなグループを立ち上げ、7月にスタートした。

たのしい授業をテーマとする教員のグループとしては、同じく科ボセンコーディネーターとなっている三木淳男氏が約 40 年前に立ち上げた「岡山仮説サークル」が今でも活動しているが、高齢化が進み、Z 世代と呼ばれる現代の若者には訴求力が弱い。そこで第 2 号で記事を書いてくれた OB の教員：久保君に代表をお願いし、コーディネーターが実務などをサポートすることにした。

科ボセンを起源とするとしても、願いは「たのしい授業をする、たのしい教員生活を送る教員が増えること」である。将来的には大学の枠を越え、学生を含め岡山での「たのしい先生」の心と技術の拠り所となることを目指している。

さて、実際の運営だが、Z 世代に向けた戦略として、「ゆるいつながり（匿名参加可能の LINE オープンチャット）」「月に一度のテーマを決めたオンラインミーティング+季節に 1 回の対面の会」という形態で進めている。ただ、Z 世代は膨大な情報の中から価値あるものを取捨選択することに疲れており、例えば 1 年生が多くを占める科目「科学ボランティア入門」の受講生 140 人にオープンチャットへの登録を呼びかけても当初は登録 0 だった。衝撃だった。そこから少しずつ声をかけていくことで、現在は登録者約 40 名、月次オンラインミーティングには毎回 5～7 名程度、対面の会には 10 人程度が参加している。予想より地味なスタートだったが、力を加え続けることで少しずつ大きくする方針で進めている。（テーマの例：算数数学の授業書体験、ICT 利活用教育、教採対策、教師の時短術 など）

次なるステップとして、2023 年 8 月 11 日にサイピアと岡山県生涯学習センターを会場にして「科ボセン×OBOG 会×たのセンおかやま」による科学教室とたのしい授業のイベントをイチから立ち上げることを計画している。イベント開催により、能力を高め、つながりを強くし、求心力を大きくすることが期待できる。目下、予算をどう確保するかが問題である。

—— 以上が概要となります。皆様からもぜひアドバイスやお力添えを頂けますと幸いです。

いよいよ
始まる！
未来型サークル

オプチャに登録しよう！

たのセン

きっと
役立つ

安心
できる

自分の
ペース
で

たのしい先生になるための知恵を学び合いましょう！

◎現場の若手教員と学生を中心にしたゆるやかな学びのサークル。2~3か月に一回ぐらいを予定しています。

内容や都合に合わせて参加してね

◎LINEオープンチャットに登録（匿名可能）すると、会のお知らせが届きます。（オンライン参加も可能）

◎会への参加は本名でお願いします。

◎学校・授業で実際に役に立つアイデア・教材紹介や、現場のリアル、お悩み相談、教員採用試験情報などなど！

◎第1回は7/23（土）15時より（約2時間）

- ・ハズレ無し！小学生から高校生までみんな大好き！楽しくて成績も上がる究極の教育ビンゴ「マッキーノ」をやってみよう！
- ・若手教員は見た！先生に、なって見る前、なって見た後。現場って、実際どんなふう？
- ・教員採用試験一発合格のために、3年生ならすぐ始めたいこと、2年生なら早めの準備、1年生でやっておけることはコレ！

◎第2回以降ではこんなことを・・・

☆教育現場はICT教育本格導入で大混乱中！若手は「詳しいでしょ？」と期待されます。でも、現場も大学もまだなかなか対応できていない現状です。一足早く実際に体験して、それを武器にしませんか？

☆あまり知られていませんが、実は、誰にでもマネできて、児童生徒が楽しく学べる〈授業書〉というものがあります。「自分には、確実に喜ばれる授業がある」ということは、現実の中で振り回される教員の日々の中で、心の支えになるかもしれません。体験してみませんか？

「たのセン」は、子どもたちの喜びを自分自身の喜びとして生きる教員を少しでも増やしたい、と願う科ボラコーディネーターが企画しました。

リアル（オフライン）の会の様子



オンラインの会の様子

